

平成29年第7回（臨時）高砂市教育委員会 会議録（要旨）

日時

平成29年4月7日午後8時

場所

高砂市役所西庁舎4階会議室

出席者

衣笠教育長、吉田委員、山名委員、神尾委員、布施委員

出席事務局職員

大西教育部長、永安教育推進室長、都筑教育推進室教育総務課長、  
赤松学校教育室学校教育課長

本日の会議に付した事件

報告事項

- 1 市内X中学校における抄本に係る事案について
- 2 鹿島中学校野球部練習中に発生したファールボールによる車の損傷について

---

議 事 報告事項 1 市内X中学校における抄本に係る事案について

- 事務局 (報告事項1について説明)
- 教育長 概要を説明しました。何か質問はありますか。
- 委員A 新聞社の方がどうやってそれを知ったのかは明確にはできてないんですか。
- 事務局 はい。情報ソースというのは明かせないということで、ただ、本社上司のほうからそういう情報を聞いて確認をしているという回答です。
- 委員B 3月下旬まで、11月に戻ってないこと、3学期中に不明だったということは全部、校長は知っていたんですか。
- 事務局 校長がこの事実を知ったのは、きょうの新聞社からの電話連絡で初めて知ったということです。
- 委員B 一つ一つの文書の重さ、個人情報満載されて記録として残っていくという管理のあり方は、慣れてしまっていて、毎回真剣に取り組んでなくて、どれだけ重要な紙だということに対する意識がない。学校の中でこれは情報管理の仕方が甘いし、組織としての連絡の系統、運営上の校長以下の責任のとり方の問題、組織的にも緩みっ放しですね。
- 委員C 4月の入学式での状況、例えば4月の中旬とか、ある期間をもって全部回収して、金庫に保管する。そういう一定の期限を設けていると少しは歯どめになるように思います。
- 委員D 教育委員会の事務局が幼小中の一貫ということを一生懸命進めていますよね。そのために、小学校、中学校のデータを全部入れられるソフトも市で買いましたね。1人の子どもを同じ目で俯瞰して育てていこうということで考えてやっている上で、小学校の情報は中学校にとっては非常に大事だと思います。4月の初めだけでなく、私は、6月、7月でも何か子どもがおかしいときには前のことをもう1回見て、考えるぐらい、大事なデータだと思います。その辺の教育委員会の考え方とか意識が伝わってなかったのかなというのが残念に思います。
- 教育長 一貫に向けての取り組みで、中学校区で子どもたちをしっかりと見ていく、という取り組みを今進めている中で、情報をしっかりと管理する。きっちりと校長先生の部屋にある金庫で管理をする。今、委員が言われたように、情報管理とか学校の組織管理が甘い。先生方にそれが伝わってなかったのは教育委員会も反省をして、改めてまた指導していきたいと思います。
- 委員A 情報管理の部分はその先生に限った問題なのか。そういう教育がちゃんとできているのかが1つ今後の発生防止にも役立つのではないかと思う。これは既にでき上がっていると考えていいのか。それとも、これからまたさらにそういう教育を徹底してやるのか。

- 教育長 この例を見ると、この先生だけの問題ではないと私は捉えています。やはり学校の中で管理がしっかりとできていれば、この先生自身もそういう認識をきっちりと踏まえて、周りの先生方の様子を見て、自分もそういった行動をとれるようになると思いますので、学校全体の雰囲気というか、大事な書類を扱っているという認識が甘い中で起こってしまったと考えられますので、これから、この人だからでなく、学校の情報管理から組織の中での学校運営をしていくことに問題、課題があるという捉え方をして、今後も指導をしていく必要が私はあると思います。
- 委員D 取り扱いのマニュアルなりルールなりをきちんと決めれば絶対起こらないと思います。ですから、ちゃんと記録をつけて、必ず定期的に確認をするということをしたらいかがでしょうか。
- 事務局 高砂市教育委員会では、「学校危機対応ハンドブック」という、こういうケースを想定して、こういう事案が発生したらこういう対応をするということに関して事細かくマニュアルを作成しています。その中で、この場合は、抄録については金庫で保管することになっていますが、残念ながらこのたびは、金庫でなく、各担任の机の引き出し、もしくは各学年に学年のロッカーもあるので、そこに保管していて、金庫での保管がマニュアルどおりに実行されてなかったことがわかりました。
- 委員A 結局そういうマニュアルがあっても、ちゃんとなされてなかったなら、教育は毎年でもするべきです。それと、上下関係の連絡、横関係の連絡、報連相の一環として、風通しのいい職場を自分たちでつくっていかないと、何かあってもすぐ、まず連絡、相談するということを、それを学校全体、要は高砂市全体で考えていくべきじゃないかと思います。
- 委員B そういういろんなマニュアルがいっぱいあると思います。それを一個一個周知徹底して確認のし合いをしないと、いつも何かがあってから反省するけど、またしばらくしたら熱も冷めて、注意も散漫になって忘れてしまう。こういう大きい事案になる前に、ささいなことから一個一個確認し合っておくことがリスクマネジメントに対する意識です。  
確認することがいっぱいあり過ぎて大変だと思いますけど、校長先生が、いろんなマニュアルを順番に、職員の中に徹底するための期間を決めて、例えば4月だったらどういうことを、5月だったらどういう月間にするかとか、チェック期間、月間をやったらいいと思う。
- 委員D 何かあったら、すぐ管理職に連絡する。
- 教育長 危機管理用のマニュアルには、校長、管理職に連絡したりとか報告するようにも書かれているんですが、それが徹底されてないというところがあるので、毎回しっかりとチェックしていく必要があると考えています。
- 事務局 こういう機密情報、個人情報の観点の情報モラルに関しては、毎年、先生方

に研修をしています。しかし、研修をしても情報モラルの希薄さは出てきています。今後に関して、今考えているのは、もしもこの抄本が学校内のほかのところから見つければいいんですが、もしも見つからなかった場合には、保護者のほうにも説明をさせていただかないといけないと考えています。今後、こういう抄本は学校のほうに保管をお願いしているところで、監査的なものに関しては、検討しなくてはならないと感じています。

- 委員A 監査をこれからやっということですか。
- 事務局 それを全校やるのか、また、抜き打ちでやるのかは別にして、ただ、こちらの教育委員会も監査というか、点検もせずこういうことが起こってしまったということは反省すべき点だと考えています。
- 委員B 今までのその流れを全て公表するなら、事実の事実と非常に真摯に受けとめて赤裸々に学校内の校長、教頭がその事実をきょうまで把握できなかったこと、学年主任以下、学年の先生方だけで処理をしようとしていたのか、重要性がわからず放置してしまっていたのか、教育委員会としては、マニュアルどおりに対応していなかったことに対して、処罰の対象として捉えていくことなのか、教育委員会としては保護者へは事実を明らかにして、その書類探しをやっているということと、その書類に書かれているものの内容が何であることを正直に言って、探す努力をすると謝るしかないですね。
- 教育長 当該生徒の保護者の方には丁寧に説明をすることはもちろんですが、学校全体の全保護者に対してもしっかりと説明会を開くなり、文書で説明するなりその後の対応でしっかりとした対応がなされていくのには当然していかなければならないし、信頼回復のためにはこれからしっかりと取り組んでいくことを認識しています。

---

議 事 報告事項2 鹿島中学校野球部練習中に発生したファールボールによる車の損傷について

- 事務局 (報告事項2について説明)
- 教育長 概要を説明させていただきました。何かご質問ありませんか。
- 委員B 事故があったときに当然謝って、教頭や校長には話が行っていたんですかね、事故の報告事項として。
- 事務局 18日にこの事故がありまして、18日が日曜日ですので、19日に校長へ報告したと。また、校長からも19日に電話で、こういう事案になったということが教育委員会のほうには入っています。
- 委員B それで、当事者にはその間3カ月間何の音沙汰もなしで、放置していたということですか。
- 事務局 はい。12月18日に行ってその状態を目視した後は、そのまま相手方とは接触

はなかったということです。

○委員B ずっと待っていてくれたのではないか。それなのに対応が誠意のないものだった。ただ一般常識で適切な対応してくださいということで。

○委員C ちょっと私が聞いた話なんです、野球部には保護者会というのがありますね。野球部の保護者会が接触していたようには聞いています。全く接触してなかったということではないと思います。

○事務局 この件に関しては学校の管理下であるけれども、校長は、野球部の父母の会のほうにも相談はしていたということで、実際、父母の会の役員さんにもお会いしました。その中で、当然、学校の管理下の事故だから学校が対応すべきものであって、父母の会は、その自動車屋さんに損害額とか、その辺の連絡をとったことは一度もないということです。

○委員A こういうことがあったときに、担当者は上長に連絡しますよね。その後の動きとしては、どなたが例えば中古車屋さんと接触してその弁償の話や保険の話だとかをしているのでしょうか。その担当というのはあるんですか、学校に。その当事者が自分でやるものなんですか。それとも、事務方か、その人と一緒にやるものなんですか。

○教育長 そういうトラブルの担当者はいません。だから、基本的には野球部のこういう事象が起こったときは野球部の顧問と、管理職が一緒になって対応するというのが基本だと思います。

これからこのことに限らず真摯に対応するというのを学校のほうにもしっかりと伝えて指導していきたいと思います。

○委員D こういう新しい事案があったときは、「学校危機対応ハンドブック」の中に追加していくようなことをしてもいいのでは。今見ると、傷害、けがをした場合のことしかないので、足していただければと思います。

○教育長 何年かでは見直して、少しずつ足していますので、新たないろんな事象があったときの対応についても加えていくということを検討していきたいと思います。

ほかにご意見ありますか。

きょうご意見いただいたことを踏まえて、今後、学校に対しては引き続き教育委員会としてもしっかりと対応していきたいと思います。

それでは、教育委員会を閉会いたします。

---

平成29年4月7日 午後9時48分 教育長会議の閉会を宣告

---